

〔倭訓栞前編二十八〕ほとぎ 日本紀に缶をよめり、新撰字鏡に、甌又甌又甌又壺をよめり、火坏ホツキの

義なるべし、倭名鈔に、瓮をひらか、俗にいふほとぎと注せり、爾雅に、瓮謂之缶と見えたり、或は樂器とせる事倭漢同じ、延喜式に、酒缶平缶蓋水瓮叩瓮などあり、

〔延喜式主計二十四〕凡左右京五畿内國調、一丁輸錢隨時增減、其畿内輸雜物者、陶器○中、二丁○中、

缶三口、受三五一丁○中、缶蓋六口、徑六寸○中、土師器一丁○中、手湯瓮二口、徑六寸、受三一一瓮八口、受三一斗、略

凡諸國輸調、陶器○中、一丁○中、缶六口、瓮十二口、略、著乳瓮八口、受三一斗、略

〔尊勝院文書〕越前國使等解 申勘定□□□物事

合買雜物廿一物

價稻四百五十四束○中

缶廿口 直州束○口別二束○中略

天平勝寶七歲五月三日

田使曾禰連弟麻呂○以下略

坏

〔類聚名義抄土六〕坏音脛、瓦未燒、ツキ、

〔伊呂波字類抄雜物部〕坏ツキ、大坏、中坏、座

〔倭訓栞前編十六〕つき 坏をよむは土笥の義又土器の轉音なり、酒つき高つきなどいふ是也、延

喜式に、管坏、壑坏、汁漬坏、中片坏、又間坏、片坏、又窪坏あり、字書にも、坏は瓦器未燒也と見えたり、日

本紀に坏をも訓せり、萬葉集に一つきの酒と見ゆ、

〔儀式四〕踐祚大嘗祭儀

太政官符諸國每國有符

應造新器

河内國○中 足下坏十六口 御鹽坏十六口○中 間坏廿口 大高坏卅口 枚次材八十口